

# ソフトウェア製品セキュリティ情報

## Software Vulnerability Information

**HITACHI**  
Inspire the Next

ソフトウェア事業部 (Software Division)

ホーム | 製品&サービス | >> セキュリティ |

英語ページへ

日立サイトの検索 by Google

> GO

> 詳細な検索

ホーム > 製品セキュリティ情報 > ソフトウェア事業部セキュリティ情報 > HS02-011

2003.07.07更新

## Apache HTTP Serverに関するクロスサイトスクリプティング問題の説明

2002.10.02にApache Software Foundation が提供している Apache HTTP Server に関するクロスサイトスクリプティングの脆弱性の問題(Bugtraq-id : 5847)が公表されました。Hitachi Web Server は、Apache HTTP Server を導入しており、本クロスサイトスクリプティング脆弱性の問題に該当します。つきましては、該当する問題の対応策を提示させていただきますので、留意の上、ご利用いただきますようお願いいたします。

【対象製品】

対象製品を以下に示します。

項番	形名	製品名	対象バージョン	適用OS
1	P-1B41-E111	Hitachi Web Server	01-00~ 01-00/B, 01-01~ 01-01/B, 01-02~ 01-02/C	HP-UX10.20
			01-00~	

> トップ

> What's New

> お知らせ

> 御参考 (警告情報など)

> ソフトウェア製品セキュリティ情報

> セキュリティ対応機関へのリンク

> お問い合わせ  
[soft-security@itg.hitachi.co.jp](mailto:soft-security@itg.hitachi.co.jp)

個人情報保護ポリシーにご同意頂ける場合のみ、上記アドレスをご利用下さい。ご同意頂けない場合には、お問い合わせに回答できない場合があります。なお、入力頂いた個人情報は本ポリシーに従って適切に管理し、問合せ対応のためにのみ使用します。第三者への個人情報の提供、預託、開示は法令に基づく場合を除いて行いません。お問い合わせへの回答後、個人情報は当社が責任を持って適切に廃棄いたします。

> 日立および他社の商品名称に関する記述

2	P-1B41-E121	Hitachi Web Server	01-00/B, 01-01~ 01-01/B, 01-02~ 01-02/C	HP-UX11.0/11i
3	P-1B41-E121B1	Hitachi Web Server	01-00~ 01-00/A, 01-01~ 01-01/A, 01-02~ 01-02/C	HP-UX11.0/11i
4	P-1M41-E111	Hitachi Web Server	01-01~ 01-01/B, 01-02~ 01-02/C	AIX5L V5.1
5	P-1L41-E111	Hitachi Web Server	01-01	Turbolinux Server 6 for MP Series
			01-01-A	Turbolinux Server 7 for AP8000
6	P-2441-E151	Hitachi Web Server	02-00	Windows NT 4.0 Workstation/Server, Windows 2000 Server/ Advanced Server/ Datacenter Server
7	P-9D41-E111	Hitachi Web Server	01-00~ 01-00/B, 01-01~ 01-01/B, 01-02~ 01-02/C	Solaris2.6/7/8/9
8	P-9S41-E111	Hitachi Web Server	01-01~ 01-01/B	Turbo Linux日本語版 6.1, RedHat Linux 6.2 日本語版

【問題の内容】

Hitachi Web Server では、ある特定の状態におけるエラー画面を出力する

際に、本来行うべきエスケープ処理(「<」を「&lt;」に変換する等)を行っていません。これにより、不当にスクリプトを実行させられることがあります。このことを利用した悪意の第三者により、クロスサイトスクリプティングの問題が発生します。

【発生条件】

UseCanonicalNameディレクティブにOffを指定し(UseCanonicalNameディレクティブ省略時はOn)、かつ、そのWebサーバのホスト名がDNS(Domain Name System)サーバでワイルドカード指定で登録されている場合。

【対応策】

下記のいずれかの対策をお願い致します。

- UseCanonicalNameディレクティブにOnを指定する。
- ワイルドカード指定を行わない(各ホスト名毎に登録する)。
- ErrorDocumentディレクティブによるカスタマイズを行う。  
ErrorDocumentディレクティブについての詳細は、マニュアル「Hitachi Web Server」を参照願います。

更新履歴：

- 2003.07.07 : このセキュリティ情報ページをリニューアルしました。

- 
- 弊社では、セキュリティ対応に関して正確な情報を提供するよう努力しておりますが、セキュリティ問題に関する情報は変化しており、当ホームページで記載している内容を予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。情報ご参照の際には、常に最新の情報をご確認い

たたくようお願いします。

- 当ホームページに記載されている製品には、他社開発製品が含まれております。これらのセキュリティ情報については他社から提供、または公開された情報を基にしております。弊社では、情報の正確性および完全性について注意を払っておりますが、開発元の状況変化に伴い、当ホームページの記載内容に変更が生じることがあります。
- 当ホームページはセキュリティ情報の提供を目的としたものであり、法律上の責任を負うものではありません。お客様が独自に行なった(あるいは行なわなかった)セキュリティ対応その他のご行為の結果につきまして、弊社では責任を負いかねます。
- 当ホームページから他サイトのページへのリンクアドレスは情報発信時のものです。他サイトでの変更などを発見した場合には、リンク切れ等にならないように努力はいたしますが、永続的にリンク先を保証するものではありません。

 [ページトップへ](#)